

1. 委員会を開いた年月日及び場所

平成28年9月15日 午前9時30分開会
小値賀町役場 3階第1会議室

2. 出席した委員の氏名

委員長	土川重佳
副委員長	宮崎良保
委員	横山弘藏
委員	末永一朗
委員	松屋治郎
委員	今田光弘

3. 欠席した委員の氏名

なし

4. 出席した委員外議員の氏名

議長	立石隆教
議選監査委員	浦英明

5. 説明のため出席した者

町長	西浩三
副町長	谷良一
教育長	吉元勝信
会計管理者	尾崎孝三
総務課長	中川一也
住民課長	西村久之彦
福祉事務所長	植村敏彦
産業振興課政策監	木下誠子
産業振興課長	中村慶幸
農業委員会事務局長	〃
建設課長	蛭子晴市
教育次長	前田達也
診療所事務長	近藤進

6. 職務のため出席した者

議会事務局長	尾野英昭
議会事務局書記	岩坪百合

7. 付託を受けた事件の件名

議案第65号

平成27年度小値賀町各会計歳入歳出決算認定について

平成27年度小値賀町一般会計歳入歳出決算

委員長（土川重佳） おはようございます。

ただいまから決算特別委員会を開会する。

本委員会に付託された案件は、『平成 27 年度小値賀町各会計歳入歳出決算認定について』である。

本特別委員会の審査は本日と 16 日の 2 日間である。

審査の順序として、本日は一般会計、16 日は特別会計を予定しているが、本日、万一、一般会計が終了しない場合は、16 日の特別会計の前に行いたいと思うので、ご了承願う。

審議に入る前、皆さん方にご協力お願いする。

発言については、手を挙げて委員長の指名の後、起立して行ってほしい。

質疑に対して説明していただくため出席している説明員は、原則、町長以下、各課長職までだ。それ以外の者の説明を要する場合は、説明員が説明させる者の氏名及び必要な理由を述べた上で、委員長の許可を得て発言させるようにしていただきたい。

また、その折の説明させる者の服装は十分注意されるよう、ご配慮願う。

それでは、審議に入る前に、議員選出の浦 英明監査委員に、議員としての立場から 27 年度の各会計決算について報告をしていただく。 浦 監査委員

議選監査委員（浦 英明） それでは報告する。

平成 27 年度決算状況は、町税収入で 1 億 5,300 万円。繰入金 1 億 649 万円。その他を合わせて歳入合計 4 億 6,162 万円で、自主財源の歳入総額に占める割合は 14.8%と極めて低く、本町の財政基盤が脆弱といわれるゆえんである。歳入未済額は一般会計と特別会計合わせて 3,198 万 3,000 円で、前年度の 3,171 万 7,000 円に比べ 26 万 6,000 円の増となっている。平成 26 年度において債権管理条例規則等の整備を実施し、分納誓約書、時効中断等の処置を行った結果及び担当職員の徴収努力により微増に留まったものと推察される。ただし、滞納額は多額であり、債権者の諸々の事情等によっては今後、滞納が固定化し、時効、不納欠損が予測される可能性があるため、引き続き法令や条例等を遵守した適正な滞納整理を行うべきだ。賦課の公正性・公平性と納付義務を求めて、新たな滞納の発生防止策を講じられるよう、なお一層の努力を望みたいと思う。

歳出においては、不用額は一般会計で 8,392 万 5,000 円と平成 26 年度より 2,596 万 9,000 円の大幅増となっている。執行率が 50%以下のもの、忘れて執行しなかったものなど、チェックが甘いものがあるので、内部牽制・内部統制等、十分留意されるよう望む。財政健全化判断比率の実質公債費比率は、26 年度より 1.4 ポイント減の 8.2%で経常収支比率は前年度より 4.1 ポイント減の 75.0%であり、地方債は一般会計と特別会計合わせて 48 億 6,353 万 4,000 円で、26 年度より 1 億 2,312 万 8,000 円の減、基金残高は 26 年度より 1 億 2,431 万 9,000 円増の 26 億 314 万 5,000 円となっており、財政指標は概ね良好である。しかしながら、今後老朽化した施設の修理、それから診療所の建替え、農水産物の加工場、既に完成している小中学校校舎、養寿園施設等の償還が気になるところである。いつ頃が

ピークになるのか、その折の指標はどのようなものになるのか、財政計画を示して説明されることを望む。

以上、平成 27 年度一般会計及び特別会計の決算書及び関係帳票、証拠書類などについて総合審査した結果を報告する。

委員長（土川重佳） ありがとうございます。

これから質疑を行う。

一般会計歳入歳出決算について、歳入から順番に款をおって質疑願う。

事項別明細書 13 ページから。

第 1 款・町 税 松屋委員

委員（松屋治郎） 第 1 款・町税、2 項、1 目・固定資産税について伺う。固定資産税について、平成 23 年から 25 年、26 年の不納欠損処理を行わなかった場合の収入未済額の推移を見てみると、平成 23 年度、475 万 4,990 円、24 年度、567 万 6,790 円、92 万 1,800 円の増、25 年度、627 万 6,190 円、59 万 9,400 円の増、今年は 38 万 2,900 円の不納欠損を行なっている。26 年度は 658 万 8,790 円、31 万 2,600 円増、27 年度、725 万 4,390 円、66 万 5,600 円の増となっている。平成 24 年度から議会も税の滞納問題を取り上げてきたが、未済額は年々増加している。収入未済額を増やさない、またその回収策を町外の大口滞納者が 1 名、約 260 万があったと思われるが、どうなっているのかと、また未収の場合、その対策について伺う。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 議員おっしゃるとおり、年々固定資産税の滞納額が増えている。これは今、ご指摘のとおり、メンバーとしてはほとんど変わってないが、新規に現れた方は今のところない。しかしながら、この大口の滞納者については、再三催促をしているが、なかなか入る気配は今のところないが、今後については県税事務所、税務署それから地方税回収機構というのがあるが、そこと法等を照らし合わせながら、どのようにしたら良いのかを今検討している。先日も税務署の方が税務署長さんを始め 2 名の方がお出でになり、その話も一応させてもらった。税務署としても国税徴収法というのがあり、それでその方の家の中の家財を調査することができるとなっているので、この辺を含めて、その大口の方は町外にいらっしゃるの、何回かは出向いて、その方とも話をしたいと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 2 款・地方譲与税

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 3 款・利子割交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 4 款・配当割交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第5款・株式等譲渡所得割交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第6款・地方消費税交付金

横山委員

委員（横山弘藏） 地方消費税交付金、これは26年度より約2,700万ばかりアップしている。これは消費税のアップ率に比例して上がっているのかどうか尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 消費税のアップは、平成25年度だったかと思う。それでこのアップ率は、国と地方の按分率が変わって、地方のほうに10%程多く配分するようになったことが一つと、経済動向によって少し消費が上向いたのが原因だと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第7款・自動車取得税交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第8款・地方特例交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第9款・地方交付税

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第10款・交通安全対策特別交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第11款・分担金及び負担金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第12款・使用料及び手数料

松屋委員

委員（松屋治郎） 12款、1項、6目・土木使用料の2節・住宅使用料について伺う。平成26年度、収入未済額は146万6,900円、27年度の未済額は70万7,300円で、対前年で収入未済額は75万9,600円減となっている。これは収入未済額の減は徴収努力によるものと思われるが、その内容について伺う。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 約70万下がっている訳だが、大口の滞納者が2人おったので、その人からの徴収を行なった。その結果、昨年よりも半分になったということである。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 努力すればできるということもあるようだが、残りについてもどのような考えをしているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 今の形で努力していけば、ほとんど徴収することはできているが、その中で1名だけ町外のほうに出て行って連絡も取れない方がいる。約4万円の滞納があるが、それはちょっと今の段階では難しいと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第13款・国庫支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第14款・県支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第15款・財産収入

宮崎委員

委員（宮崎良保） 昨年と比べると倍増しているが、この主な要因を伺う。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 決算審査意見書の16ページの上の部分に書いているが、その主な増えた部分は、建設課のほうの旧ターミナルから発生した残土の埋め立て地使用料収入というのが874万8,000円あるが、これは昨年が38万程度であったので、約800万が増えたということが主な要因だと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第16款・寄付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第17款・繰入金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第18款・繰越金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第19款・諸収入

宮崎委員

委員（宮崎良保） 諸収入の中で大幅に減額をしているが、ここで見ると小値賀町旧ターミナルビルの移転補償料の9,000万円程度が減、あわび販売高の1,300万等が減と書いているが、あわび館の販売の収入の減の主な要因を伺う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） あわび館に関しては、27年度から町直営をやめて担い手公社に移管している。担い手公社の収入にし、一方で不足分だけを補助金として交付しているので、歳入としてはあがってこないということになる。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第20款・町債

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳入全般について、ご質疑願う。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 次に、財産に関する調書の質疑を行う。（P.317～） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 有価証券というか、まちづくり公社に 20 万円出資していたと思うが、その項目がここに無いが、現在どのようになっているのか。また、どのように今後推移するのか伺う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） ご指摘の有価証券の件だが、まちづくり公社に出資を 20 万している。ご承知のように、まちづくり公社が解散をして精算の手続き中という状況で、まだ証券の精算に至っていない。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） まちづくり公社が解散したのは、今年度当初だと思うが、それから半年以上経っている。まだその精算が終わっていないというのはちょっと遅いと思うが、その動向を町のほうから請求するというのはできないのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 早急に状況を確認して、言われるように早期に精算が進むようにしたいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

しばらく休憩する。

29 : 07

— 休 憩 午 前 9 時 59 分 —

— 再 開 午 前 10 時 05 分 —

（総務課、住民課、福祉事務所、教育委員会 入室）

委員長（土川重佳） 再開する。

歳出に移るが、最初に総務課、住民課、福祉事務所、教育委員会関係を、款をおってご質疑願う。

第 1 款・議 会 費 （P.51～）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 2 款・総 務 費 （P.51～78） 横山委員

委員（横山弘藏） 総務費の不用額が 2,260 万余り出ている。これは前のと比べると 1,260 万程度増えているが、不用額がちょっと多いと思うが、その辺の説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 確かに不用額が非常に増えている。一番の要因は、企画費の予算の執行がここで約 800 万円ぐらい進んでいない。事業種類とすれば、約 15～20 程度の事業を組み立てているが、事業の執行がギリギリまでかかったので、専決予算で予算処理をすれば綺麗に未執行の分はできたが、最終補正予算の 3 月議会までにはまだ何とか消化しようという気持ちがあったものだから、予算減額をしなかったということと、事業の種類によっては執行率 4 割とか、その辺の事業もあったので、執行残となっている。もう少し戦

力と事業量と仕事量とを精査して、数を何でもこうでもと、地方創生ということもあり、かなり球出しをいっぱいしたが、実際にできる量は決まっているので、29年度、28年度も含めてだが、その辺の事業の見直しをしっかりとしていかなければならないと感じている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 例えば、ふるさと創生事業の就業準備金が300万ぐらい余っている。こういうことも私は、年度末に近づいたら大体見通しがつくと思う。やっぱり大きい金額は補正で議会で示すべきだと思うので、今後注意してほしい。よろしく願います。それから、2款、1目の3節、この時間外手当が約800万出ている。これも前年度と比較してみると何百万か増えている。よく町長が言うマンパワー不足がこういうところに出ているのかと思うが、こういうふうに時間外手当が増えるということは、少し働く人も疲れが残ったり、いろいろ支障が出てくると思うが、こういう時間外が増えていく要因について一言願います。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 前段の担い手の新規就業準備金については、議員が言うとおりの見込みをしっかりと確認して、こういうことがないようにしたいと思う。それと時間外手当の件だが、これも総務課とすれば非常に頭の痛いところであるが、極力、時間外命令をきちんと上司に提出して上司が認めて、やるというような格好をしながら職員の健康管理にも十分注意しながらやっていきたいと思っているが、やっぱりどんどん流れてくる仕事量に対応するために、どうしても圧迫される部分とか、ご存知のように警報なんか出ると一晩中いなければいけないとか、そういったこともあるし、やむを得ない部分も増えているのかなと思っている。このことについては、庁舎内の課長会議等でもよく議題になるが、極力時間外が発生しないように、小池東京都知事が「8時以降は残さない」というようなことをこのごろ言ったみたいだが、庁内においてもそういうふうなことで対応したい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 日本人は日ごろから働きすぎるというのをよく言われている。フランスなんかでは、残業は一切しないというのを国で決めている。だからやろうと思えばできると思うが、残業は個人差もあると思う。町もマンパワー不足ということもあってこういうことになっていると思うが、やはりスムーズに仕事ができるように800万も時間外を出すぐらいなら新しい人を1人、2人採用して、しっかり不足しているところを補充して仕事に当たるのがいいと思うが、その辺どう思うか。町長に伺う。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 言われることと少し違うことを言う。全く考え方が違うかもしれない。これは職員全体で800万なので、今言ったようにある部門だけに人を入れれば解決する問題ではない。そういうことで、我々もできるだけ守備範囲を広くして、その中で解決してほしいということをお願いしているわけだから、これは、先ほど委員も言ったが、人によって違う。最終的には、手に負えないなら、ほかの人に任せるしか手はないはず。そこら

辺を自分 1 人で背負い込まないようにしてもらおう。そういう配分をするのも管理職の仕事だということで、先ほど総務課長がちょっとくどくど説明をしているが、そういう事情で、我々も極力時間外を減らすようにと。おまけに最終的には予備費から持ってきているわけだから、予算の中にもおさまっていないので、課長会の折にはそういうことでお願いをしている。個別なところで非常に人が足りないということであれば、当然、増員をしている。そういう問題ではなく、少しずつというか、急に報告をしなければいけない案件が出たり、それからまた資料を急に作らばいかんと、そういう時のために時間外があるというふうになっているので、まず目標としては予備費から充用しないようにしようということで、年々やっているが、去年より少し減ったかなと思うが、予備費からの充用は。もう少しマンパワー不足を解決しながら、この予備費からの充用も止めることができるように、時間外については、もう少ししっかりした管理をしていきたいと思っている。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 時間外を行う時に伺いは出ているのか。それと、伺いに対しての命令は出ているのか。また残業手当の支給は、命令の時間帯に従って支給されているのか。その点を伺う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 時間外命令簿というのがあるので、時間外をする場合にはそういったものを出して、上司の印鑑を貰って、またその後に履行の確認をするようにしている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 宮崎委員

委員（宮崎良保） 町長の答弁の中で「予備費から充当している」ということだった。予備費から 127 万 5,000 円充当しているが、この充当した日にちがいつ頃なのか。もし早い時期であれば、補正でも対応できるのではなかったかと思うが、その辺いかがか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 予備費は 3 月 31 日までの時間外手当を 4 月の給料の時点で出すので、その時点で、3 月 31 日以降に、特に確定申告、税のほうがその時期に集中して、毎日、土日もしでやっているんで、その辺が結構大きい要因なので、いずれにしても 4 月に入ってから流用する格好になっている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 不用額でやっぱり気になるのが、企画費で 770 万出ている。前年度比からすると 150 万余り増えているが、これでちょっと面白いと思うのが、当初予算が 2,440 万。補正に 700 万上がっている。そして 700 万不用額が出ている。その中で 19 節の負担金、補助及び交付金のところの 420 万余りの不用額が一番大きい。こういう負担金と補助金というのは毎年変わらない状況だと思うが、なぜこういうふうに補正をして、なおかつ 700 万余るのか、その辺の説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） この企画費の中には、例の離島活性化交付金のソフト事業が相当

入っている。修学旅行生の交通費の補助金であったり、町づくりの人材育成のいろんな先進地視察の旅費だったり、離島留学の件とか花嫁対策とか、そういったものを離島活性化交付金事業でやっているの、事業の年度途中でそういったものを盛り込んで補正を計上するような格好に、国とのやり取りの中でそういうものがあって組み立てるが、それを実際に最後まで行く時になかなか事業量が多くて消化できないという状況、もしくは天候の都合でそういった先進地視察に行けないとかいうことも含めて、なかなかうまく事業が進捗しなかったということだ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

今田委員

委員（今田光弘） 67 ページの空港費だが、直接金額に係わることではないが、平成 27 年度決算における主要施策の成果報告書ということで冊子を貰っているが、その 13 ページの右上に空港利用状況というのがあり、平成 23 年度から 27 年度の利用回数ということで内訳が出ている。実は昨年と同じようなものの 12 ページ、お手元にあるか分からないが、その利用状況、26 年度の利用回数、これは昨年の決算の時に出ているので正しいはずだが、その時点の 26 年度の利用回数ということで、ある程度フィックスされた回数で、今回出ている 26 年度の利用回数というのが実は違う。僕らは金額のほうは監査にお任せしているが、いろんな場面で頭の中で考える時に、基になる数字が違うというのはすごく、「どうしてかな。それだったら今年度は合っているのかな」とやっぱり疑問に思ったりするので、どうして違ってしまうのか説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 13 ページ、26 年度までは民間機のところの欄を 1 つの数字でまとめて書いていたということで、27 年度はもう少し分かりやすくということで、比較ができるように表を分けた時に、前のをコピーして持っていった関係で、26 年度の数字が 25 年度と全く同じ数字が入っている。これは去年の報告の備考欄が正解だが、その他の欄がちょっと、もういっぺん精査しないといけないというふうに、比較すると、これは松くい虫の航空防除のヘリの離発着だ。そうすると 26 年度の数字がその他 3 回というのがちょっとおかしいような感じだ。これについてはもうちょっと、正しく調べてから報告したいが、概ね、こういうふうに NIMAS が一番多くて、去年はグライダーが特別に入ったが、あとは松くい虫の航空防除、それから自衛隊の慣熟訓練、それとドクターヘリというふうな、動き自体は大体、年間を通してそうひどく変わらない状況だ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 今の件については分かった。ちょっとほかで質問するタイミングがないので、ここでついでとなつて申し訳ないが、同じく成果報告書の 3 ページ、自然増減あるいは社会増減の人口の推移だが、これも平成 26 年度のこの年に出ている数字と、昨年もらった 26 年度の数字が違う。トータルでは合っているが、内訳が違う。こういうのが、僕らとしては、いろんな情報を見て町民に説明をしたりとかいう機会がある中で、こういう数字が違うというのは本当に困ってしまうこと。どうしてこういう違いが生まれるのか、

説明をお願いする。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） その件については、後で調べてお答えしたい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 分かった。忙しいと思うが、やはり皆でチェックしてやるというのは大事なことだと思う。以上だ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 末永委員

委員（末永一朗） 64 ページの離島留学制度調査研究とあるが、私も将来的には、やはり交流人口を増やすためにはしてほしいと思うが、どこまで進んでいるのか知らせてほしい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 離島留学制度等調査研究事業だが、離島活性化交付金事業を活用して協議会を立ち上げて、大学の先生を 2 名ほど含めた協議会だが、あとは学校関係者、それから保護者等でやっているところだ。これについては、今、調査研究で 1 つの報告書に纏めようということで、今年度 3 年目で、そこまではまず第 1 段としてやろうということで、その中から次に進める場合に政策的なもの、一応、方向性で、今、協議会の中で考えているのは、高校生の留学をやったらどうかという、幅広く小学校、中学校からという意見も当然あるが、全体の方向性とすれば、高校生というイメージで進めているところだ。まだ、具体的に形としては、話し合いと先進地視察等を繰り返しているところで、まだ形としては、はっきりしたものではない。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） できたらなるべく早く対応したほうがいいんじゃないかと思う。というのが、テレビで皆さんもご承知と思うが、五島の久賀島、あそこは福岡から小学生が 2 名留学している。そういうことを考えれば、やっぱり小値賀町でも高校生に限らず、課長の言うことも分かるが、小学生からでも何とか受け入れようということを経済的には考えてほしいと思うので、よろしく願います。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 今、末永議員が言うような意見も協議会の中で当然出ている。それを全くしないということではなく、そういうことも含めた計画で出来上がっていくのではないかと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 横山委員

委員（横山弘藏） 2 款、1 項、6 目の 18 節・備品購入費 68 万 4,000 円。このセミナーハウスのエアコンになっているが、セミナーハウスの利用状況について知らせてほしい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） セミナーハウスの利用状況だが、主に学生が利用するというのをイメージとして、もう 15 年ぐらい前から長崎ウエスレヤン大学がずっと借り上げる格好で地域社会の研究などしていたが、それが途切れてからは通常は空いている状態で、地域づ

くりインターン生を受け入れた時の滞在所として使うということでやってきている。最近
は地域づくりインターンもだが、県立大学のしまなびの際も使うようにしている。ただ、
インターネット環境を整えておかないと、今のいろんなことに使うという時に難しいと
ころがあって、そうすると月極というか、契約をしておかなければいけない。頻繁に使うの
であれば、そういう形できちんとしていこうと思うが、今のところ滅多に使わないものだから、
そこまでやるかなというところで止まっている。この事業では、県単事業でそういった環
境整備がちょうど全 21 市町に県のほうからあったので、それを活用して備品購入で環境だ
けは整えたところだ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

宮崎委員

委員（宮崎良保） 小値賀交通関係で伺う。成果報告書の 13 ページ。小値賀交通に関し
ては、850 万の補助金が 27 年は 800 万で 50 万減っているということで説明を受けた。その内
容は運転手が若返ったというのが主なことだろうということだったが、バスの利用状況を見
ると、全利用者がとうとう 2 万人を切った状態になった。将来的に見れば、いかに若い
運転手で給料が安いといえど、なかなか今後の運営には不安が残ると思う。また、そのた
びに小値賀町が運営補助金を将来また 900 万とか 1,000 万とかなる状況になりはしないか
と思うので、この状況についてどう対応するのかが一番我々としては心配なところだが、
町としては今後、どのようにこれらのことを考えているのか。今後、乗客数を延ばすため
に周遊券とか観光バスとか、そういう考えも将来的に持っていて乗客数を増やすという対
応もしなければと思うが、決算なのでなかなか言いにくいと思うが、そういった考えがあ
れば伺いたい。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 昨日、会社の経営状況の報告をした。その時も言ったが、利用者がい
なくなれば、なかなか補助でやるのもやりづらいところがある。ここは特にお年寄りの分
だけ抽出して敬老パスということで出ているが、やっぱりお年寄りの利用も減ってきて
いる状況で、全体的にも、先ほど言ったように 1,000 人ぐらいは 1 年間で減っているとい
うことだが、利用客だけのことに関して言えば、やっぱり観光客の増加も見込まれるが、便
数が余りにも少なくて利用しづらいことは否めないことだと思う。今、実はこれから大変
だと思うのは、土曜、日曜は休んでいる。2 名しかいないからということだと思うが、こ
れも利用状況を見ながら改善をしなければいけないと思うし、結局 2 名じゃ足りないから 3
名となった時、3 名分、2.5 人でいいとかという状況になっても無駄なことなので、やっぱ
り 3 人体制にする時は 3 人で、ある程度フルに一所懸命回ってもらうようなダイヤを逆に
作らばいかんのじゃないかと思う。ちなみに燃料費というのは限られている。おまけに、
バスは今はまだ古いのを使っているからあれだが、新しいのに換えたら燃費が全然変わっ
て、今、おそらく 100 万ちょっとだと思うが、100 万ぐらいで済むのであれば、人を
増やすならダイヤを増やして集客に努めればいいのかと思うので、何せ今、ようやく 2
人になって 1 年目か、落ち着いたところなので、私としても言い出しにくいところがある。

ただ、料金についても、考えようだと思うが、ちょっと収入を今調べようと思ってみたが、300万台だ。敬老を除けば一般の人は70万とかいう数字が実績で出ているようなので、もう少し利用を増やしてもらうには、もう1段階ちょっと思い切ったことをやるのもどうかかと考えているが、そうするとまた赤字が少し増えるのかなという、痛し痒しのところがある。とりあえず今、バスが老朽化しているので、バスを取り替える準備をしていたが、たまにテレビ等で報道されているが、オリンピックのせいかもしれないが、バスがなかなか手に入らないということで、それじゃ中古をとということになると一般財源で対応しなければならない。そうすると、新車を購入しても、起債が効けば、2,000万してもうちの出し分は5~600万で済むわけだから。今、意外と中古を買って修理しても結構かかると聞いている。そういうことで、中古を買うのもためらっていて、それと観光に使えないかという欲の深いことを考えているものだから、なかなか先に進んでいない。ただ、年内には方向付けをはっきりして改善を図っていきたいと思っている。昨日も言ったが、本当に、交通弱者のためにこれを無くすわけにはいかないと思っているので、効率的に、もうどうせ金は要るわけだから、空で走っても油代は要るので、なるべく乗せる工夫をする方向を考えていかなければいけないと思っているところだ。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 確かに町長の言うとおりでと思う。しかし、今、タクシーも休業状態であるので、町民の弱者の足とすればバスが唯一のものだろうと考えている。であれば、もっと朝早い時期に動かしてもいいのかなと。また「1日乗れますよ」と、観光客を意識した周遊券、1日500円という程度で1日乗れる周遊券の発想とかいうのも今から計画をして、せつかく今、若い2人になっている。まだ無理がきく年代なので、一所懸命して経営を安定させないと将来的に不安が残るのかなと思うので、よろしくお願ひしたいと思う。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） すいません、私さつき「土日」と言ったが、日曜だけ休んでいると、それと祭日も休んでいるかな、という状況だそうなので、訂正させていただきたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第3款・民生費（P.77~91） 松屋委員

委員（松屋治郎） 3款、3項、2目・扶助費について伺う。平成26年度は5,243万3,488円で、27年度は4,541万9,589円となっており、701万3,899円減となっているが、生活保護費、医療費、介護扶助費の増減について伺う。また、平成27年度は生活保護費1,690万5,998円、医療費が2,740万536円、介護扶助費が111万3,055円となっているが、それぞれの増減の要因と金額を伺う。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 扶助費の減額の要因については、全体的な話だが、平成26年度は保護世帯が30戸あった。27年度は29戸。それに対する保護受給者だが、26年度が45

人、27年度が37人で、保護受給者の数が8名少なくなっているのので、数が減ったことが扶助費が下がった要因だ。それと生活扶助費の平成26年度については、1,807万7,000円だ。医療扶助費が26年度は3,285万4,000円。介護扶助が26年度は87万3,000円ということになっている。差額については、生活保護扶助費のほうが約180万の減、医療扶助費については540万程度の減、介護扶助費は17万程度の増になっている。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） これは収入が増えて保護世帯が減ったということか。8人減の内容について願う。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 転出もある。それと死亡もある。収入が上がってということではなく、大きな要因は転出や死亡だ。当然、収入が上がると補助から外れるということも出てはくる。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 横山委員

委員（横山弘藏） この20節の扶助費も不用額が結構増えている。前年度より290万余り増えているが、これもやっぱり見通しというか計画どおりいかなかったということか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 生活保護費の不用額についてだが、1つの要因としては入院患者が減ったことにより、医療費扶助が減額しているということもある。それと、生活扶助費には生活扶助、教育扶助、住宅扶助費等があり、世帯員の数や構成によって保護費が決定するが、今回、先ほど松屋委員の質問の中にもあり、もう答えたが、保護世帯の転出とか世帯分離による保護費の支給額の減とかっていうのがあるので、そういうことについては、なかなか当初の段階では読めない部分が多々あるので、最終的に不用額が出たということになる。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 横山委員

委員（横山弘藏） 4目のこども園について伺う。こども園は保育料が無料になって増えている傾向にあると思うが、この人件費の関係を見ると、臨時保育士の賃金や保育業務委託職員の報酬とか、けっこうな金額になっているが、これから先、正式に保育士を雇用する、なかなか小値賃に応募する人もいないようだが、この辺はどのように対処する考えなのか。

委員長（土川重佳） 教育長

教育長（吉元勝信） 確かにこども園の園児が増加しており、有資格者の確保がかなり厳しいという状況だ。総務課とも連携しながら正職員として何名かでも声をかけようとして計画している。来年度は定年退職者も1人いるし、そういうこともあるので、そこら辺も補えるように、新しい免許を持った職員を雇用というふうにやっていきたいと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第8款・消 防 費 (P.135~139) 今田委員

委員（今田光弘） 昨年のこの決算特別委員会の中で、消防費について、消防はとても忙しくて、なかなか出張とかもあると仕事ができないということで、報酬額を見直す考えはないかという質問に対して、実際は少しずつ改善している、日当も増やしているということだが、見直しも審議会に諮問してみたいと昨年、答えているが、実際に諮問しているか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 消防団員の報酬については、審議会のほうには諮問はしていない。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 昨年のこの場では「諮問してみたい」という答えだったが、実際には諮問していないということか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） その時の議論は確か、団長・副団長の話だったかと記憶しているが、特にやっていない。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 「諮問してみたい」ということだったのでしなかったのかもしれないが、やはり「してみたい」という気持ちがもしあるなら諮問して、結果がどうなるかは別だが、やはり諮問すべきではないかと思うが、いかがか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 消防団、質問は確か団長・副団長の話だったと思うが、他の町村あたりの例等も見て、そんなにうちだけが悪い状態ではないので諮問をしていないということだと思う。それから1年経ってるので、もう1回調査をかけて、特別改正をせねばいけないような状態にあれば、また報酬等、審議会のほうにご意見を伺ってみたいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 宮崎委員

委員（宮崎良保） 消防団について伺う。現在、10分団あって団員がもう120名程度になっている。例規集によると150名程度確保するという予定であったが、今、各分団とも人員確保に苦勞している。私たちの生命と財産を守る重要な任務であるので、150名確保が夢ではあるが、現状としてそれが無理になってきている。近年、消防団の合併等も話題になってきているが、これについて、将来的に町はどのような考えを持っているのか伺う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 今、宮崎委員が言ったように消防団の団員の確保が難しくなって、合併の話が出ている。現実にもそういうことで、5年ぐらい前から機能分団制度をとるか合併するかという両方を考えながらいろいろやってきたが、今は方向性とすれば合併ということで、1つのある分団がそういう状況で話し合いを始めたところだ。そういったものが今後、どうしても小さい集落で分団を構えることができないところについては、これだけ道路事情もいいし小さな島なので、地域や分団間で話し合いをしながら、もう少し合併が進むのかな、進めていかざるを得ないのかなと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 末永委員

委員（末永一朗） 参考のために伺いたいですが、この前、笛吹で3軒火事があった。あの時に、発見者が通達が遅れたと言っているが、最初見つけた人に言わせれば「連絡したが、本署からの指令がなければ消火できない」というようなことを言われ、消すのが遅れたということを聞いているが、そこら辺の状況はどうか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 役場のほうにはそのような連絡は何もなく、通報があつてからすぐ通常どおりの動きをしている。その「本署から指示がないと動けない」とかという話は通常はないと思うが、西署の出張所のほうがどういうことだったかは、ちょっとこちらのほうでは把握できていないが、おそらく、そういうことはないというふうに思うが、今は各分団長にも、小値賀で火事があったらすぐにメールが入るようになっている。そういう面では連絡体制は非常に整っていると思っている。

委員（末永一朗） 連絡はいついても、消火するのに、消防署員は燃えるのを消防署前で見とったと。しかし消火は、「本署から『消火せれ』というのがなからんばされんとよ」という話ば聞いたもんだから、まさかそういうことはなかろうと私は思うが、そういうことを聞いたもんだから、見直しはされんとか、というようなことを町民から言われたから質問しているわけだ。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） その辺は佐世保市の消防署のほうにも、こういった声があつたということは会議の時に伝えたいと思うが、市の消防局の組織のことなので、役場のほうでは管轄外というか、ちょっと答えにくいところだ。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 総務課長は管轄外と言ったが、決して管轄外ではない。勘違いしないでほしい。小値賀町の消防はやっぱり小値賀町の消防が動かさなくてはいけないのだから。そういう話はちらちら入ってきている。そのうちしっかりと確かめてみる。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 消防費の19節の分担金及び負担金。これが1,407万8,000円と大幅増となっているが、その要因について伺う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 27年度にかけて佐世保市消防局の無線のデジタル化工事をしている。その工事については広域消防も関係するので、応分の負担をとということで、その分が今回は負担金としてきている。その分については町のほうでも減災債という地方債、7割の交付税措置があるが、その財源を1,400万充てている。増加した分については。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第9款・教育費（P. 139～161） 横山委員

委員（横山弘藏） 再三、申し訳ないが、この教育費も全体で929万の不用額が出ている。

前年度と比較すると 400 万近く増えているが、これの要因について説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 委員が言うように、教育費の中で不用額が前年と比べて大幅に増えている。主な要因としては、まずは小学校費が約 140 万、中学校費でも 140 万程度と、学校関係の経費がちょっと過大に不用額として残っている。原因としては、学校のほうに確認したが、1つ理由としては「経費削減に努力した」という回答だった。予算計上している備品とか教員の資材等に関しては、予定どおり購入しているということなので、削減努力と、予算当時に課題な見積もりがあったのではないかと考えている。今後、そういうことがないように、年度内にある程度の見込みをつけて、ちゃんと精査するよう指導したい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今の説明を聞いて、やっぱり予算の見積もりが甘いという気がする。やはりこんなに使わないお金がたくさん余るということは、途中でも補正で減額するというような、少し緊張感があつたほうがいいと思うが、その辺いかがか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 議員おっしゃるとおりなので、今後、学校のほうにも出向いてきちんと指導したいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） その点、教育長はどう思うか。

委員長（土川重佳） 教育長

教育長（吉元勝信） 確かに、私も 28 年度の予算をヒアリングしたが、やはり学校としては少し余分に予算を計上したいという意向があるようだ。子どもの教育費のために、我々も十分な予算を確保したいと考えているが、次長が言ったように、内容を十分に点検しながら、今後、注意していきたい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 9 款、8 項、2 目の学校給食費。給食を始めてもう 1 年余り経過しているが、給食費について、食材費なんかは充てていると思うが、今のところ滞納とかは発生していないかどうか伺う。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 27 年度においては未納者はゼロだ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 同じ項目だが、給食費で 1 食あたりの単価は大体どのぐらいで設定しているのか。小学校と中学校でお願いします。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 小学校で 250 円、中学校で 300 円。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

宮崎委員

委員（宮崎良保） 成果報告書の 38 ページ。社会教育施設の利用状況の中で、若者交流セ

センターの利用率が極めて下がっている。平成 24 年度は 790 人あったのが 25、26 とどんどん下がって、もう早や 300 人を切ろうかという状況になっている。こういった状況が考えられるのか。また、今後グラウンドをきちっと整備して使いやすいようになるかと思うので、その辺を利用した、この若交の利用方法も今後どのように考えているのか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 若者交流センターの宿泊については、前年度と大きく下がっているが、この主な要因としては、1 つは県立大学の学生の宿泊者が減っているということだ。特に山田先生の山田ゼミのほうは 26 年度は結構頻繁に来ていたが、27 年度はちょっと来なくなっただというのが主な原因だ。今後の交流センターの利用については、大学のそういうゼミ関係のほかには合宿等で使われることが多いので、特に今度、グラウンドが新しくなったので、そういう合宿等を目的とした宿泊者の確保に力を入れていきたいと思っている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 合宿のほうに力を入れていきたいということだが、合宿にすると、今の設備でいいのかどうか。もっと改良すべきところがないのか。やはり研修棟とか話し合いをする場所とか、もっと広域に使えるような設備が必要ではないかと思う。そういうのを整備しながら、今後、新しいグラウンドができるので、その辺も PR しながら各大学、学校等に督励をしてもらえればと思うが、その辺の考えはどうか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） そういうことで、特に大学や、今、学童野球、少年スポーツとかサッカーとか、そういう各種生涯学習の団体とかも結構あるので、そういうところも声をかけながら十分に活用できるようなことを今後進めていきたい。そういうことで、使う分については、いろんな意見を聞きながら検討していきたいと思っている。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 今度、総合運動公園が改修されて 25 日には NHK のラジオ体操もあるということだが、結局、町民でもあの施設を良く知らない人も多いんじゃないかと思う。運動公園全体の施設を。25 日の町民レクリエーション大会の時に総合運動公園の運動場の落成を記念して、まき餅を撒くというようなことをして、町民に多く集まってもらって見てもらって、今後の活用に繋げるという考えはないのか。

委員長（土川重佳） 教育長

教育長（吉元勝信） 今のところ、まき餅といったものの予定はしていなかったが、議員が言うように総合運動公園の方向性とか施設の全体図といったものについては、町民の方々にも周知する必要があるのかなと、今の意見を伺って思ったところだ。そういうことに関しても、いろんなツールを使いながら周知をしていきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 9 款、7 項、7 目の世界文化遺産登録推進事業費について。これも不用額が 140 万余り出ている。登録が遅れているいろんな事業が実施されなかったと思われるが、

この辺、今後の世界遺産に向けての取り組みについて伺いたい。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） まず、この世界遺産関係の不用額については、特に13節の委託料と負担金のほうが大きいですが、委託料については入札の減ということだ。19節の負担金、補助金については、県に払う負担金が今度のイコモスの取り下げに伴い、負担金の精算を行っている。それが3月末になって最終的に金額が出たので、今回、こういう50何万という形での不用額が残ったということになっている。今後の世界遺産関係の取り組みについては、今、神官屋敷を修復しているが、今後、ビジターセンター等も含めて受け入れ態勢の準備、それから世界遺産ツアー等の町民への周知等を考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） この世界遺産に関しては、小値賀町だけではなく新上五島町も一生懸命やっているようだ。新上五島町の関係者からよく「小値賀にお客を連れてくるので教会を見せてほしい」とか、そういった相談を受ける時があるが、登録に向けて、ここに予算は上がっていないが、今後、やっぱり活発化していく中で、近隣の町と提携しているんな事業もやっていくことも必要かと思うが、その辺の今後の活動について伺いたい。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 総務課が担当だと思うが、この全体的な調整は総務課のほうでやっている。新年度28年度でもう予算化しているものも既にある。新上五島、五島と結ぶことも1つ、それから平戸とも結びたいという話もあるので、今後、具体的になれば補正予算もお願いすることになるかもしれない。やっぱり、さっき教育委員会のほうからは出なかったが、これは長崎県全体というか、世界遺産関係の市や町でやることだが、一応、名称も変わっているので、まずはその周知徹底、私も行政報告で言ったが、小値賀町の構成資産である「野崎島の集落跡」という、名称があまり短すぎないかなという気がしたが、そう変わっているので、その周知徹底ももちろん図っていかなければならない。そういうことで、新上五島町と五島市と一緒に「おもてなし協議会」というのを立ち上げている。これは予算化も進んでいるし、現場サイドでは会議等も開かれている。そういうことで、私としては、やはりどうしても足の確保が、平戸とも、それから五島とも必要じゃないかということで、今、内々に、五島産業汽船の船が宇久島で遊んでいる。朝行って夕方まで動かない。そういうことで、あの船の活用をお願いできないかと、内々だが、話をしている。それが実現すれば、結局、朝こちらから新上五島に行くのが太古丸しかないという状況も解決したいし、場合によっては長崎まで、小値賀から長崎に帰るお客さんを送るというダイヤも要るんじゃないかと。逆にまた、長崎から新上五島に来たお客さんを小値賀に引っ張り込むためのダイヤ改正も要るんじゃないかと思っている。そういうことで、総合的に考えれば、今言う足の問題、それから野崎島についても道路を早く着手をしたいということで、先日の知事要望の時にもお願いしてきた。何とか補正に割り込めないかというところまで来ているので、そしたら28年度の国の今やろうとしている補正に乗せても

らい、繰り越して 29 年度中に道路も含めて野崎地区の整備が終わればと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 末永委員

委員（末永一朗） 154 ページの 1 節の歴史民俗資料館のことで何うが、今まで勤めていた魚屋裕子さんが 6 月いっぱい退職したと聞いているが、私も民泊してる中で、お客さんから「大変分かりやすく説明して、よう勉強しとるよ」というような声をいただいているが、今は何か協力隊が入っているように聞いているが、「調子のよか時は、時々資料館ものぞきよっとよ」と本人から聞いたものだから、指導のために、出られる時には出講みたいにして出てくれんかということで、指導してもらおうようなことは考えていないか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 委員が言うとおりの、魚屋さんについては 6 月末で体調不良ということで退職されたが、今、そういうことで、後任の方に、ご本人の厚意でたまに調子がいい時には来てもらい、そういうことを教えてもらっている状況だ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 関連するが、成果報告等も見ると少し増加傾向にある。来館者が。そして観光客もそれなりに入ってきている。うちに来るお客にも、小値賀町の歴史がよく分かるので、歴史民俗資料館には足を運ぶように、私も勧めている。そういった意味で、今までベテランの魚屋さんが体調不良で辞めたということだが、しっかり後任者をサポートしてもらい、小値賀町の文化が観光客とか学生にちゃんと伝わるように努めてほしいと思う。そういった意味において、予算もしっかりつけて観光の面でもかなり力を発揮しているので、その辺をお願いしておく。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 今、来てもらっている地域おこし協力隊の方も意欲的に今、一所懸命勉強しているところで、今度の補正予算にも、若干、そういう勉強のための経費も計上しているところだ。そういうことで、実際、協力隊と臨時の方と今、2 名態勢でやっているの、なかなか、月曜日だけが休館日ということで、人的に厳しい状況もある。一生懸命人も探しているが、なぜか歴史民俗資料館については、募集してもなかなか人間が集まらないというのがちょっと悩みの種で、そういうことで、一所懸命こちらのほうもサポート体制をとりながら、いい環境づくりを目指していきたいと思っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 11 款・公 債 費 (P. 161～163)

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 12 款・諸 支 出 金 (P. 163)

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 13 款・予 備 費 (P. 163)

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳出全般についてご質疑願う。 総務課長

総務課長（中川一也） 先ほど、決算成果の人口のところ、昨年の数字と違うという指摘を今田委員のほうから受けたが、今回の平成 27 年の欄の平成 26 年度の数字が正解だ。誠に申し訳ない。昨年の数値のほうが誤りだったということでご理解していただきたい。

委員長（土川重佳） 歳出全般、ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

しばらく休憩する。

1:58:35

（福祉事務所、教育委員会 退室）

— 休 憩 午 前 11 時 32 分 —

— 再 開 午 後 1 時 30 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

次に、総務課、住民課、産業振興課、農業委員会、建設課関係の歳出について質疑願う。

第 4 款・衛 生 費 (P.91~101) 宮崎委員

委員（宮崎良保） 小値賀町の重点区域海岸漂着物の対策について伺う。成果報告書の 31 ページ。決算額が 975 万 2,000 円ということで、野崎島東、中部、南、笛吹、浜津、斑ということで、面積はここに書いているが、どれだけの効果があったのか。これに基づいて海岸がどのように変わったのか。足らねばまた余計予算を追加せねばいかんのかなと思うが、やはり海岸の保全・管理は、本当にこの町にとっても観光にとっても重要なものだと思うので、この辺、お答え願う。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 3 地区で 237 立米の海岸漂着物を処理した。見えている部分というか、その範囲の分は全て処理したと思うので、きれいになったと考えている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 237 立米というのがとんでもない数量だと思うが、風によってはまた漂着するわけだ。これは年に何回行っているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 年に何回というような考え方はしていない。小値賀町全域で海岸漂着物が多いところを重点的にしているわけだが、27 年度に関しては野崎の世界遺産がらみだったので、野崎を中心に行った。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 横山委員

委員（横山弘藏） 衛生費の 1 項、1 目、19 節・安心出産支援事業補助。小値賀町のこの事業についてだが、今、どういう現状なのか。27 年度、どういう状況だったのかお知らせ願う。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 成果報告の 16 ページにも載っているが、この 15 名がこの安心出

産支援事業を受けており、この傾向は大体毎年同じような人数で推移している。できれば多いほうが、うちとしてもいいが、現状ではそれぐらいだと思う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 決算書 96 ページ、環境衛生費の中の葬祭場の消防点検に 2 万 5,920 円、保守点検に 17 万 8,200 円と載っているが、この火葬場については、本年には、かなりあそこで通夜をする回数が多くなっている。今夏だけでも 4 件か 5 件あったと思うが、そこに聞くと意外と不評だ。ロビーではクーラーが聞かなくて暑かったとかトイレが汚かったとか。そういった葬祭場全部の保守点検というのはしているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） ここに書いているとおり、葬祭場の点検を各種しているが、葬祭場の電気保安委託料は保安協会にしてもらっている。その下の設備点検委託は小値賀町の業者に行ってもらっている。そして一番下の保守点検だが、これは炉内のいろいろな耐火物とか機械等の点検を毎年 1 回行っている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 毎年 1 回というのは何月か。やはり夏場の炉に対しては非常に傷めるところが多いだろうと思う。やはりきちっと、1 回だけじゃなく年間 2 回に分けて点検してくれるとだいぶ助かると思うが、その辺の考えはないか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 実は 28 年度の点検も先日、終了し、その結果、大きな修繕等が伴うというところはなかった。業者のほうともこの点に関しては毎年協議しているが、今のところ年に 1 回の点検でいいのではないかと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 斎場のことで関連して質問するが、点検に当たると思うが、斎場の保守点検になると思うが、玄関のサッシが少し反って、開け閉めがスムーズにいかないというのを皆言っているが、その辺はどうか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） その点は私も確認している。上が下がってきたものと考えられるので、なるべく早くひっかからないように修繕したいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） もうちょっと関連して質問するが、昨年の委員会で斎場も視察に行ったが、住民からもちょっと声が上がっているが、祭壇の垂れ幕というか、それから造花とか、最期のお別れをするには少しもうすすこけているんじゃないかと。見栄えが悪いとか、やっぱり最期の人生を見送る場所なので、もう少しメンテをしてきれいにできないか、その辺を伺う。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 白い垂れ幕に関しては、本年度行う予定にしている。ちょっと遅

れている。あと、飾り物に関しては、ちょっと検討させてもらいたいと思っている。

(マイクなし「そんなに高くなければ検討したい」)

委員長(土川重佳) 横山委員

委員(横山弘藏) 高いとか安いとかじゃなくて、やっぱりきれいにしたほうがいいという声がある。たぶんそう高くないと思う。そして花のデザインも、ただ並べているというより、もう少し立体感のある良いものを置いたら少し見栄えがするんじゃないかと思うので、よろしく願います。

委員長(土川重佳) 宮崎委員

委員(宮崎良保) ついでにもう1つ。さっきも言ったように、これからあそこで通夜をする回数が多くなると思う。冬場についてはさほど心配しないが、夏場においては、やはりロビーあたりが非常に暑いような感じがする。中に入れば寒いほどクーラーが効いているのにロビーに行けばものすごく暑いので、あそのクーラー、エアコン等の設備を今後考えていかなければいけないかと思うが、その辺はどうか。

委員長(土川重佳) 建設課長

建設課長(蛭子晴市) その件に関しては、私も先日、通夜に行って暑いなど感じたわけだが、年に数回あるかないかの通夜と、また夏場、一番暑いときに当たるかどうかということがあり、使ったとしても年に数度なのかなという感じを持っている。しかし、あそこを整備するとなると相当なお金がかかると思っている。なので、この件に関しては、すぐここで即答できるような答えではないと思っているので、よろしく願います。

委員長(土川重佳) 松屋委員

委員(松屋治郎) ついでと言えば語弊があるが、最近、少子高齢化で「親戚もおらん、おいが死んだ時は、葬式はどげんすっちゃろかい」という人が多い。そういうことも含めて、葬儀のあり方、葬祭場のあり方を考えられないものかと思うが、どうか。

委員長(土川重佳) 町長

町長(西 浩三) やっぱり葬祭場ができた時からしたら環境もずいぶん変わっているだろうと思う。今から斎場を使う利用者も増えると思う。そういうことで、今、松屋議員が言ったのは、おそらくお世話するシステムがないかということも含めてだと思うので、そこはある程度、民間にお願いしなければいけない部分があるかと思う。ただ、あそこを使って営業するということは、ある面、仕方がない状況になってきているとは思う。もし、そういうお世話をしたいという方がいたら、またいろいろと相談に乗ってやっていきたいと思う。

委員長(土川重佳) 衛生費、ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第5款・農林水産業費 (P.101~123)

宮崎委員

委員(宮崎良保) まず最初に、イノシシの捕獲実施部隊の報酬が載っているが、3万3,000円残。今、2名で活動しているが、やはり町全体を見ると2名の態勢ではちょっと不十分な

気がする。今後きちっとした対応をするためには、あと1班増やしたほうがいいのではと思うが、どうか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 見廻隊、現状2名を補強したほうがいいのではないかとのお尋ねだが、現時点で補強する計画はない。ただ、ご心配のようにイノシシの捕獲頭数も増えていっているし、ワイヤーメッシュの突破とか破損という状況もよく見受けられるようになっている。そういったことで、今般、7月から8月にかけて各農家集落を回り、町長も一般質問の際にも答えたかと思うが、地域ぐるみでの防護、捕獲のサポートといった活動を強化するというのが大事だと思うので、そこを促進しながら、その後にそれでも必要性が認められるという場合には考えていきたいと思う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） イノシシは私の地区でも、この前はありがとうございました。いろいろお世話になりました。ただ、ワイヤーメッシュを張り巡らして、イノシシと人間の生活部分を遮断しようというところで始まったが、この前の清水さんか、あの人の話によると、どうも山際にワイヤーメッシュを張っているのであまり効果がないのではないかと、前後1メートルぐらいは整備しないと効果がない、というような指摘を受けた。また電牧柵も、仕事がしやすいようにコンクリートの手前にしているが、そしたら電流が流れないのであまり効果がないという指摘をされた。こういうことを各集落にも通達をして、「今後、こういうふうにご注意してください」という感じできちっとしていけると、やはりいくら今の状態でやったとしても、ワイヤーメッシュは破られるだろうし、電牧柵についても、ちょっと慣れてくれば効かんようになるという気がするので、この辺の徹底した集落への指導というのでも考えていかなければならないと思うが、その辺どうか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 指摘のとおりだと思っている。先月、先々月、地区回りを約1カ月かけてした際にも、やはりメッシュを3年ほど前から張っているが、私たちも勉強する中で当初のメッシュの張り込み方というのでも指導してもらったし、そういったことも踏まえて、見廻隊のうち1名はイノシシのA級インストラクターの資格を取らせているが、そういった人材を活用して、メッシュの張り込みや電柵の設置とか、そういった場合に事前に指導ができる、あるいは立会いができるといった体制を作っていければと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 担い手会社にも結構な補助金が流れているが、この前、唐見崎のヤギ牧場を視察に行ったが、その時はヤギの姿が見当たらずちょっと残念だったが、あとで松本局長から報告があつて、ワイヤーメッシュに首を突っ込んで2頭ぐらい亡くなっていたという報告を受けたが、あれはイノシシを避ける柵に突っ込んでいたのか。イノシシを防ぐためにヤギで草を取るのが、むしろそのヤギがそれで亡くなっていると聞いて、もうちょっと工夫ができないかと思ったが、その辺の活動状況について、もうちょっと説

明をお願いする。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） ヤギの件については、担い手公社で収益事業で行っているが、唐見崎のヤギステーションについては、25年度ぐらいに県の補助事業で柵を張っている。私も松本局長のほうから現状の報告をもらっているが、やっぱりメッシュに、イノシシのワイヤーメッシュと同じものなので、オスは大きい分大丈夫らしいが、メスが誤って頭を入れて、逆に角が引っかかって出れずに死んでしまったという話を聞いている。唐見崎の繁殖ステーションでの成果というのがなかなか上がらない状態にあり、先日、元あった担い手公社の研修棟の近くに仮置き場というか、そういったところを整備しているが、そこでは繁殖していた実績があるということで、一旦、そこに全頭、今残ってたのが11頭と聞いているが、戻している。そこでまた、実績があるということなので、状況を見ながら対応を考えていきたいと思う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 成果報告書の23ページだが、ミニトマトの集出荷場建設整備事業で1,313万5,000円作っている。本当に農家にとってはいいことだろうというのが私の持論だ。農家は畑から採ったらもうそのまま持って行って、こういった出荷場で選別したり箱詰めしたりするのが、これからは一番いいだろうと私は思っているが、その第1段目としてミニトマトの選果場ができた。本当にありがとうございます。ミニトマトが始まって1年経たないが、本年度の利用率、利用状況についてお知らせ願いたい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 確認だが、28年度の利用状況ということか。調べて後ほど答えたいと思う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 数字的には結構だと思う。ただ、担い手公社の人だけ、あるいは担い手公社の研修生だけがこれを利用するのか。それとも一般の人もミニトマトを作ればこれを利用していいのかというのが分からないので、その辺、こういった運営をする方針なのか伺う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 特に担い手公社だけとか、特定の団体だけとかいった制限はない。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） これから研修生が小値賀で農業をするためには、やはり贅沢なようだが、一定した収入と一定した自由時間がなければいけないだろうと思う。そうした面ではこういった集出荷場の整備とか選別場とかはこれから重要なものだと思う。今、小値賀の産物を見ると、まだまだ、畑から産物を採って、自分で箱入れして自分で持っていき、そういうのではなかなか規模拡大ができない。こういうのをもっと将来的には拡大して、そ

こだけを法人化して、ブロッコリーとか実えんどうとかも整備した状態での選果場が必要だと思うが、そういった考えは将来的にはないか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 宮崎議員も共進会の時に来ていたと思うが、私がまさに言わんとするところは、農協がすべきであって、うちがすべきではないというのが基本だ。そういうことで、委員も我々に言うのも結構だが、農協にハッパをかけてほしい。お願いします。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 気持ちは十分に分かる。佐世保においてもブロッコリーの選果場を今、作ろうかと検討しているようなので、我々も一所懸命農協に働きかけはするつもりだが、やはり農業は小値賀の基幹産業だ。これが衰退すると小値賀の産業も減っていく。漁業もそうだろうが。だから「これは農協だよ」「これはこうだよ」というような棲み分けするのはどうなのかな。我々も悪いのだろうが、我々も農協に行って「役場と協議しなさい」とか何とかしたほうがいいんだろうが、やはり役場も独自にそういった計画を持って農協と折衝するのも必要じゃないかと思うが、どうか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） おっしゃるとおりだ。特別、極端な話をちょっとしたような気もするが、当然、一緒になってやらなければいけないのだから、「あんたたちも、もうちょっと考えてよ」という話をしたつもりだが、それはそれとして、確かにもう、本当に主幹作物になってきているので、必要であれば、例えばうちの振興計画等にも当然上げるべきだ。そういうところにも上がってないとなれば、やはりコミュニケーションがうまくいってないのかなという気がするので、何かあったら、生産者のほうも困ったら農協に言ってるらしいが、それが我々のところになかなか届かないというのが重なってきたので、ちょっと苦言を呈したわけだが、町がやるかやらないかはまた別問題として、農業振興のためには当然、加工場の整備は要と思うし、今で満足してはいけないんじゃないかと思っているので、もう少し具体的な話がまとまれば、「全く知らないよ」ということではないが、少しは農協も「自分たちのメシの種やろうから出してよ」という話をしてるわけなので、それでその中でミニトマトあたりがほとんどが担い手の出荷だということで、皆さんも勘違いしているかもしれないが、あそこに限ったことではなく、やはり出荷場の必要性は我々も認めているので、具体的に出てきたら、個別に対応していきたいと思っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

末永委員

委員（末永一朗） 120 ページの水産加工推進事業とあるが、試験的に何かやってみたのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 水産加工推進事業、27 年度から協議会を立ち上げて実施しているが、その中で作ったものというお尋ねだと思うが、試作としてエソの蒲鉾、クロカマスの蒲鉾、トビウオの蒲鉾という練り物、それからヤズ、ブリの幼魚だが、その燻製、スルメイカ（ガンセキ）の燻製、それから一次加工としてブリの切り身、それからアジ、

スズキ、シイラといったようなものを試作を行っている。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） その結果はどうなったか分からないか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） その結果だが、作ってから、一応、モニターみたいなものを実施しているが、それが水産加工推進協議会のメンバーだとか庁舎内の職員たちということ、内部に留まっていて、これから外向けに、外の人の意見を聞くためにモニターをしていかなければいけないというのが課題だと思っている。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） やっぱこの事業は先々、6次産業を活かしていかなければならないということは大切だと思うので、小値賀の場合はチョウセンゴベがよく捕れるので、あれをなんとか加工して売り出すようなのも1つの方法じゃないかと思う。そして我々の刺し網で言えば、おじさんイオというウミゴイとかナベタ、それは漁協では800以上ないと受け取らない。それは皆、捨てるかおかずにするが、ああいうのももったいない。ああいうのもやっぱりすり身にして試食して、商品になる可能性もあるか、そこら辺も研究してもらいたいと思うので、どうか一所懸命取り組んでほしい。お願いします。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 指摘のとおり、まだ27年度に取り組み始めたばかりで、魚種も、末永議員が言うようにいろんな魚種がある。まだまだ研究が必要で、時間が必要と思っているが、幅広く意見を聞きながら多様な魚種の可能性について研究をしていきたいと思っている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 成果報告書の25ページ、林業のことで伺いたい。いわゆる、松くい虫防除対策。この中で、伐採事業がここにある。285万8,000円で135.88立米の伐採をしているが、大体本数にして何本ぐらいか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 27年度実績の135立米は、本数にして219本だ。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） ついでに、下のふるさとの森林づくり事業154万4,000円の伐採については何本か。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 157本だ。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 400本近く、年間、伐採している。これは何年もこの程度で推移しているとは思いますが、今、見回してみると、かなり松くい虫で黄色になっているやつがある。特に恥ずかしいが、我が唐見崎の道沿いはほとんどもう黄色くなって、みたんなくなっている。

るのが状況だ。大変きついだらうと思うが、一応、聞きはしたが、県道、町道沿い、バス通り沿いの黄色いやつについては早急に伐採しないと、あまりにもみたんないような気がするので、なるべく早く伐採する計画がないのか伺う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 松くい被害木に関しては、宮崎議員からよく相談も受けている。情報ももらっている。そういったことで、8月末に島内を車で、海岸線は船で調査をしたが、指摘のように唐見崎だけではないが、特に多い場所だ。今、国庫補助事業だが、この衛生伐の事業の発注の準備をしている。それから、枯損木の処理に対応できる、森林環境税を使った県の補助事業だが、それは申請の準備をしているので、衛生伐に関しては来月には着手できるのではないかと思っている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 早急に、来月にはするということで、ありがとうございます。実はこれは唐見崎ばかりを言うわけではないが、この松くい虫で枯れた松が倒れて農協のハコバンが壊れたという事故もあっているんで、やはり道沿いについては、そうならないうちに早く伐採するのが肝要かなと思うので、よろしく願います。答弁は要らない。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

横山委員

委員（横山弘藏） 松枯れについては今年は黙っておこうかと思ったが、宮崎議員が聞いたらやっぱりモヤモヤしてきたので尋ねるが、六島に関しては全滅の状態を見てきた。長年、空散をしてあんなに見事に枯れるものかと私もちょっと唖然としたが、毎年、数百本枯れている。空散を続けることによって、今後、小値賀町の松が本当に生き延びていくのかどうか、本当に心配だ。小値賀に来る観光客も、松の木を見て「小値賀の松は本当にきれいだ」と言う人が結構いる。観光資源にもなっているし、そういった防災面でも風除けになっていることは十分認識している。私もそういう意味で松を本当に心配しているが、空散によってどこまで本当に防げるのか、大変疑問に思うが、やはりいろんな本を読んでみると、枯れたらすぐ伐採して、そして焼却するのが一番いいと書いているが、そういった意味でやはり、ちょっと伐採が遅れているような気がする。今、宮崎議員が言ったように、伐採についてはもう少しスピード感を持って取り組んでほしいと思うが、その辺についてもう一度答弁をお願いします。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 先日の担い手公社の経営状況報告の際にも衛生伐に関して話があったが、その時、私は町長からも指摘が再三あっていると聞いたと思うが、今のところ、27年の実績が約200立米、衛生伐と枯損木の処理を合わせてだが、26年度も同程度になっている。担い手公社が業務委託で事業を実施しているが、担い手公社とも話をしているが、処理能力を超えたような時にどうやってスピード感を持って処理できるかということになると、やはりほかの方法を考えないといけないと思うが、ひとつの方法として、例えば建設業の力を借りるとか、そういったことが考えられると思うが、被害が集中して出

た時期に、果たしてそういう態勢が取れるのかというのも、まだ検討していないので、これから、想定を超える場合にどういう対処法があるかというのは考えていきたい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 松に関しては、皆心配していると思う。行政のほうもしっかり取り組んでいることは十分分かる。今、六島に住んでいる小金丸梅夫さんか、あの人も島に渡って、いろいろ話して、島の中をちょっと見学したが、中央というか、上りきったところに農業用の溜め池がある。そこに行ったら、もう何種類ものトンボが乱れ飛んでいた。そして梅夫さんに「すごいですね。これは子どもが見たら喜びますよ」という話をしたが、梅夫さんがその時、空中散布を止めてから、このトンボなんかが復活したという話をしていた。だから空中散布というのはやっぱり、自然環境に対してすごい悪影響を与えているというのを、また確認したが、今後も空中散布に関しては十分注意して実施してほしいと思う。特に子どもには影響が大きいということを言われているので、実施に当たってはマナー化することなく注意しながら実施してほしいと思う。それから、成果報告書の28ページのアワビ種苗センターの運営事業で1,000万から上がっている。それでちょっと聞きたいが、小値賀は今、アワビの生産高が極端に下がってもう何年もなるが、このアワビ種苗センターのアワビの放流を今でも続けているようであるが、成果としては年々上がっているものか。それとも大して成果は上がっていないのか、その辺のことを答弁願う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） アワビの稚貝の放流成果ということだが、その成果が水揚げという物差しになれば、ご承知のとおり成果は上がっていないということになるかと思う。ただ、以前にも言ったと思うが、今、放流を実施しているのがクロアワビ、一番単価の高いものだが、そのクロアワビが一番浅いところに生息しているが、食性も意外と多様で、大型の海藻、カジメとかワカメだけじゃなく、雑海藻まで食べて生きることができるということで、研究者から聞いているので、そういった意味で、まだ、磯焼け対策を実施しているが、クロアワビが放流できるような場所というのは作れるんじゃないかと私は思っているので、成果は指摘のとおり、今、上がっていないが、放流場所を確保して種苗生産は続けていきたいと思っている。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 少し補足するが、「止めてしまえ」という話にはならないことがあり、今の種苗の生産技術を残しておきたいということで、規模は縮小してでも残してくれという話をしている。直営でやっているというのはそういう意味だろうと、種苗センターだから、今度も切り離さなかった。ただ、施設がかなり老朽化していて、種苗生産にも段々支障をきたすようになりかけているのは分かっている所以、そのためにも、このアワビの里と言っているところにアワビがないというのはちょっとおかしいということで、エゾアワビの養殖試験を始めて、確か2年、3年目ぐらいになっているかもしれないが、それとかここにも書いているが、海藻の養殖試験とか、そういうことで、今、少しシフトを動かして

やっている。また、さっき課長が言ったように、藻場の回復についても、28、それから 29 年度にかけても新たな事業を立ち上げたいと思っているので、あそこを無くすつもりはないが、少しずつ用途についても変わりつつあるので、もう少し新年度ぐらいになればある程度方向もはっきりしてくるかと思うので、その時に抜本的に考え直したいと考えている。

委員長（土川重佳） いいか。ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第6款・商 工 費 (P. 123～131) 横山委員

委員（横山弘藏） 6 款、1 項、3 目の NPO おちかアイランドツーリズム協会活動補助金 160 万。これ以外にも、いろんな窓口業務や野崎島の自然学塾村の管理とか、結構観光事業には予算を使っていることは承知しているが、アイランドツーリズムの活動に関して、その中の結構大きなウエイトを占めている民泊事業。私が見る限り、年々、民泊をする家庭が減少傾向にある。民泊を受け入れる人たちの高齢化とか、いろんな事情で減っていく傾向にあるが、去年か、沖縄の伊是名という島に行ったが、その民泊の実情を観光協会に行って話を聞いたが、やはり民泊事業を受け入れたあとに、民泊の代金を、お客さんを見送ると同時に事務所ですぐ受け取るんだと。手数料を。小値賀の場合は、民泊をして 6 人、7 人受け入れて、数万円の経費をかけて、その民泊代が遅れる傾向にある。お年寄りが一所懸命無理をしてでも民泊を受け入れてやっているところもあるが、そういった事業が民泊をしている人のやる気を引き起こすためにも、そういった手数料をすぐバックできるように、余裕のある資金の提供というか、そういったことを町としては協力できないか伺う。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 去年と今年は少し状況が変わっている。NPO の資金繰りについては、なかなかこちらのほうも補助金でポンと出すというわけにはいかないの、なかなかうまくいかないかと思う。片っ方はまた株式会社だったので、そういうこともできなかった。そういうわけで、経過を言えば NPO のほうが危なくなっただけで解散をしたいところから始まっている。したら、比較的余裕がある、出資金を 7 割も返せるところが潰れちゃったと。潰れちゃったというか、解散したという状況だ。そういうことで、我々も、外の団体のことなのでなかなか言いにくい、民泊の皆さんの応援をしたいということで、28 年度には改造費とかそら辺のほうも見ようということでやっている。しかし現実には、皆さんに「何か応援することはないか」と聞いても「なか」と言われる。「自分たちはボランティアでやっとなきゃけん、なか」というのがかなりの方の考え方だった。ただ、そうでないなら、ちゃんと纏めていただき、「こういうことで、ここに応援をしてもらえんかな」という話があればやりたいと思っているが、ちよくちよく、あちこちで聞けば、「いやいや、もうボランティア精神でやってるんだから、そんなのはいらん」と。それともう 1 つは、段々減っているということを聞いているが、これもまた悪循環に陥ってるのかなと思う。高齢の方が合間合間に協力していただいていたのが、頻度が多くなればしんどくなったのかなと。そういうことで、ある程度、営業と言ったらアレだが、それで飯を食っていくという方が

もし出てきたら、そこら辺の支援をしていかないと、減るとに追いつかないんじゃないかという気がしている。そういうことで28年度も改造費の補助金とかも用意したが、何が不足しているのか、あまり利用がないようなので、そこら辺ももう1度話し合いをしてみたいと思う。ただ、さっきも言ったように、人によって極端に違う傾向があるので、そこら辺の調整をどっかでしていただければ、我々もやりやすい。ある人が「要る」と言ったからやったら、ほかの人たちは「いらん」と言われたら我々も困るので、決して後ろ向きになってるわけではないので、今後、何かあれば応援をしながら、今から利用客も増えるはずなので、そこら辺は対応していきたいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 町長の前向きな答弁をいただいて少しほっとしている。中にはボランティアでやっている気持ちがある人もいる。しかしやはり、小値賀町のために頑張っている人もいる。やはり、資金の回転ちゅうのが、時々行き詰っているようなところが見られる。そのITの人が格好つけているのか何か分からないが、与える補助金というよりも、うまく回転するようであれば、バックしてもらうとか、そういった協力体制ができたらもっとスムーズにいくんじゃないかと思う。そういった意味において、今後、ITの関係者と、町長も話しをする意欲があるようなので、その辺、十分、小値賀町の観光のあり方を、大事なので、よろしくお願ひしたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

横山委員

委員（横山弘藏） 観光の面でもう1つ気になるのが、古民家レストラン藤松の件だが、これも地域協力隊の方が2人入って、地産地消のために頑張っていると聞いているが、これも、行政のほうから私はもう少し指導していいと思うが、予約しないとできないとか、昼間はちょっと無理だとか、いろいろ使い勝手の悪いところがたくさんある。それから、藤松レストランを見学したいが、中に入れなくて、その時人がいないと。しかし観光客からすれば、あの家は本当にすごいという声をよく聞く。そういった意味において、町も補助金で造ってやって、今IT協会のほうに任しているが、小値賀町全体の観光資源としてみた場合も、行政のほうから少し、運営のあり方を指導するぐらいあってもいいんじゃないかと私は思うが、その辺、担当課がどう思っているか、意見を聞かせてほしい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 古民家レストランの観光資源としての活用をもっとという話と思うが、先日、今田委員の一般質問でトイレの話があり、古民家レストランの庭のトイレの活用をしようということで、協議をするつもりだが、仮に、定休日があるということで鍵がかかっている場合でも、漁港のほうから庭園に入ることは可能だが、横山委員がイメージしているのは、多分、無人であっても中も見れるようにしたらどうかという意見かと思うが、防犯上の観点とか、厨房もあるので衛生上の観点とか、それから、次のお客さんを迎えるための準備の部分とか、それぞれ様々、藤松の運営サイドは運営サイドで意見もあろうかと思うので、「こういった意見があっている」ということでヒアリングという

か、意見交換してみたいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第7款・土木費 (P. 131～135) 横山委員

委員（横山弘藏） 2項、2目の道路維持費の管理委託報酬が800万出ているが、この道路維持管理委託職員の報酬というのは、草刈りをする人か。これは一般の人からよく「なかなかきつい仕事だ」という声を聞く。この夏の炎天下でよく頑張っていて刈っているのを見たが、この中の女性と男性の賃金が違うというのが、ある人から指摘された。最初の賃金が。男の人が6千何百円で女の人が5千何百円か。それで、少し類似自治体に電話をして調べたら、最初から男女の賃金が違うところはあまりない。それで、大体分かるが、機械を使える人がちょっと高いとか、経験した人が高いとか。でも今の社会情勢からいくと、最初から賃金に差があるのは、男女雇用機会均等といった意味においてちょっと、と町民から指摘された。そういったところの報酬のあり方について何か、意見があれば聞かせてほしい。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 町のほうで賃金をそれぞれ仕事の重度、軽度等に合わせて作っている。その中で、重作業ということで男の人の作業は1日6,500円を採用している。女性のほうは草刈り機等は使っていないので、片付け等は一緒に行っていますが、それで軽というふうな賃金を使っている。それは1日5,500円だ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） それで、指摘をされた人と私も話をしたが、なかなかいい答えを導き出せなかった。しかし、やっぱり指摘する人が言うには、縛られる時間は一緒だ。その作業内容によって、女性ができる仕事はあるわけだ。草を集めたり。そういった作業内容で差をつけられるのはどうも納得がいけないという声も聞いた。これは今の労働監督の面からいけば、やはりよその町村でもこういった、結局、免許が有る無いに関わらずこういったことはあるのかどうか、担当課長はどう思うか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 私も各自自治体のを全部調べたわけでもないが、一般的に社会通念上、今の土建業界においてもそうだと思うが、仕事の内容というかハードさによって、当然、賃金は変わってくるし、役場の事務であれば男子と女子と差をつけるのは、同じようにデスクワークをするのに、同じ時間束縛して差をつけるというのはおかしいという議論になると思うが、力仕事ができる人と力仕事ができない人、同じ作業をして泥を運ぶ量が違うのに同じ賃金であれば、おそらくそういう人は雇われなくなると思う。むしろ。そのほうが多分、就労の機会がなくなるということで、募集をする時にはそういった条件を付して一般的には募集するというのは、それは法に触れるというふうには理解していない。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 今の話だが、それは例えば仕事を募集する時に、軽い仕事、重い仕事で給料を分けるのは分かるが、男と女というふうに分けているから…

（マイクなし「それは分けていない」）

委員（今田光弘） 分けていないか。公募する時も分けてないか。分かった。それなら結構だ。

委員長（土川重佳） 町長が退席するが、何かあれば今のうちに。 松屋委員

委員（松屋治郎） 私はいつもその道路作業をしている時に声をかける。「暑いな、頑張りよるな」と。そしたら「何年経っても給料が上がりませんですよ」というようなことを言われるが、年数が経てばいくらか賃上げも考えられるのか。これはこれですずっとこのままか。待遇を少しでも改善するという方法があるのか。この仕事はこれで精一杯なのか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 事務の嘱託については、年数である程度調整、昇給はしているが、今聞いたら、あまり長くやる人はいないのだろう、道路委託は。最近は。そういうことで、何年経ったら上げますとか、管理職というか、責任者というか、そうなった時は、その賃金を別に用意しているの、そこで調整をしている。そういうことで、個別に、何年経ったら上げるとか、そういう制度は、今の労務委託の場合はやっていないようだ。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） やるような考えはないか。

委員長（土川重佳） 町 長

町長（西 浩三） 今のところ、そういうことで、少しずつ改善はしていていると思う。最近入った人の不満があるのかもしれないから、担当課のほうとよく話して、予算を編成する時にまた考慮させてもらいたい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 今の、先ほどの話では、仕事の重たい人が 6,500 円、軽いほうが 5,500 円ということだが、僕は 8 時間労働と思っていたが、8 時間で 5,500 円だと時給的に最低賃金にいかないが、そこら辺はいかがか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 7 時間半の労働時間だ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） それを、手が回っていない状態であれば 8 時間にして賃金を上げるというのは、もしかしたら 30 分余分に仕事ができると思うが、いかがか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 担当課と相談して、また働く人たちのほうとも相談して、今言った道路の草刈りが間に合っていないということであれば話があると思うが、特に夏場の暑い時に、かなりハードな仕事を長時間というのが、毎日のことで続くのかどうかというのも 1 つあるので、金額と業務と両方を見ないとなんとも言えないかなと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） この仕事は、募集しても賃金を聞いて「割の合わん」という人もいるとも聞いたが、それは事実か。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） そういうことは私の耳には入っていない。あくまでも希望する人をこちらは募集している。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 紋切り型に手当を決めずに、やはり仕事の内容とか、季節によっての手当とか、もうちょっと働く人が気持ちよく作業できるような賃金体系を考えるのも役場の仕事かと思うので、あまり型にはまらず働く人の身にもなって、少し賃金を見直してほしいと思うが、その辺どうか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） この労働賃金の話になると、非常に難しいことがある。地域社会の問題もあるし、今、非正規雇用の、役場の嘱託職員の話もあり、昨日の新聞だったか、自治体の職員の 2 割に相当するという問題もあるが、そういう状況じゃないと仕事が回っていかないというような全体の話でもあるし、ここで簡単に上げる、上げないの話はできかねるので、今後、検討させてもらいたい。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 決算の質問にかえりたいと思う。成果報告書の 30 ページだが、住宅関係で住宅の修理費が 418 万円ということで載っている。中身を見ると、いろいろあるが、上の坂団地とみなと団地が 25%以上、4 分の 1 以上の修繕割合となっている。どういった修繕をしたのか。そして、この修繕によって住宅が何年ほど耐用年数が長引くのか。その効果等が分かれば願います。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 両団地とも建設してからだいぶ年数が経ったので、上の坂団地に関しては、ドア等がもうサビが浮き出て、それ以外の金属部分もたくさんサビが出ていたので塗り替えている。また、みなと団地は木造の壁だが、建ててから一度も壁塗りをしていなかった。今回、壁塗りをしている。そのためにたくさん金額がかかっている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 非常に大事な工事だと思うが、これによって当面、どのくらいの耐用年数が延びたのか、大体把握できれば。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 建物の耐用年数という点から言えば、木造いくら、鉄筋コンクリートいくらというのがあるので、壁塗りをしたからといっていくら延びるとするのは、ちょっと即答できない。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第10款・災害復旧費 (P.161)

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 歳出全般について、ご質疑願う。 宮崎委員

委員(宮崎良保) 成果報告書の24ページだが、来年、宮城県の全国和牛能力共進会がある。その対策協議会の補助金として95万ここに計上しているが、現状でこういった取り組みを考えているのか。

委員長(土川重佳) 産業振興課長

産業振興課長(中村慶幸) これからの取り組みということなので、28年度については140万円の協議会への補助金を予算化しているが、内訳としては出品候補牛産子への育成協力に対する費用助成。それから優良雌牛の出品奨励に対する助成。それから消耗品というか、飼料とか資材費、技術指導班への旅費の補助等を見込んでいる。

委員長(土川重佳) 宮崎委員

委員(宮崎良保) 候補牛の育成ということで、今、あったが、候補牛の選定というのはいつから始まるのか。

委員長(土川重佳) 産業振興課長

産業振興課長(中村慶幸) すみません、確認する。

委員長(土川重佳) 宮崎委員

委員(宮崎良保) 同じく24ページ、スマート放牧事業について伺う。2,779万4,000円使ってスマート放牧場を作っているが、「ICTを活用した超省力化の放牧の実証事業に必要な施設の整備」ということでやっているが、このことが小値賀の和牛の産業にどのように関係あるのか。今のところ何もないような気がするので、ただ単に担い手公社の実証実験、しかも5年間という限定だ。その後、小値賀の和牛の方に開放するのかどうか伺いたい。

委員長(土川重佳) 産業振興課長

産業振興課長(中村慶幸) スマート放牧事業については27年度がハード整備の事業で、計画で4年間というふうに、事業上はなっている。28年度から3年間、今度は実証テストの期間に入っているが、その後に関しては、補助事業で取得した財産になるので、簡易キット牛舎であるとか牧柵とか資材があるが、それぞれ耐用年数も違ってくるかと思うが、せっきく整備した施設なので、実証テストでは一旦、3年間で区切りを迎えて評価をすることになるが、その結果を踏まえて、せっきくある施設なので希望者に利用してもらいたいと考えている。

委員長(土川重佳) 宮崎委員

委員(宮崎良保) 趣旨は分かった。しかし、この2,700万という大きな金がそこまで実証に必要なだったのかという気がする。スマート放牧の効果はやはりコストダウンだろうが、コストダウンするのにあまりにも…いくらコストダウンになるのか分からない。例えば100万コストダウンするのに2,000万かけたとかいう感じに受け止められかねないので、た

った4年間で。やはり将来的、10年あるいは20年計画で作っていく事業でないとなら効果が無いのかと思うが、是非一般の和牛部会の方にも開放して、「こういったことができるのでしませんか」という特例のような方法も考えていかなければいけないのかと思うがどうか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 約2,800万の事業ということでハード整備をしているが、指摘のように費用対効果というのが、2,800万なので3年間の実証事業で、1年間で930万ぐらいの便益がなければならぬという話になるが、一方で、先ほど言ったように、減価償却の期間というのはそれ以上あるかと思うし、減価償却期間が過ぎたから機能が失われるというものでもないで、確かに全国でも珍しい取り組みと聞いているが、その中にICTに係る整備費用がかなりのシェアを占めていると思うので、逆に言うとそのICTの部分在今后、技術がまた進んでより導入しやすくなるとか、コンパクトになるとか、そういったことも考えられるかと思うので、状況を見ながら活用の推進を図っていききたい。

委員長（土川重佳） ほかに質疑はないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

これで質疑を終わる。

しばらく休憩する。

（執行部 退室）

— 休 憩 午 後 3 時 00 分 —

— 再 開 午 後 3 時 08 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

一般会計について質疑を行ってきたが、特別委員会として、一般会計についての意見を伺い、整理をしたいと思う。

どなたでも結構なので意見をお願いします。

横山委員

委員（横山弘藏） 全般的に、平成26年度と差のない予算執行になっている。しかし、感じるところは、不用額が目についた。予算を立てる時にある程度精査して、途中で必要でない予算がもし出てくれば、速やかに補正を組んで、もう少し緊張感を持って、そしてもう少し説明をできる決算書になるように望む。そして、結局、この特別委員会でいろんなことを指摘したり聞いたりしているが、そういった不用額が多額に出るような状況をわざわざ特別委員会でいろいろ意見を言うのもいかなものかと思う。そういった意味において、もうちょっと執行部は不用額のあり方をもうちょっと研究して、多分、マンパワー不足もこういったところに出てきているんじゃないかと思う。事務方の作業が遅れ遅れになっているというのを感じる。そういった意味において、今後、もうちょっとしっかり取り組んでほしいと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 全く僕も一緒に、いわゆる実質収支比率というのが審査意見書の6ペ

一に出てくるが、これが今年 5.5%ということで、本来 3%~5%が、当然、その中に納まるのが普通であるが、結局、年度の途中でお金が余ってしまっているということで、3月ギリギリまで引っ張ったということがあるとは思いますが、もう少し、前もって分かっていたら、これはもう適正な財政運営ではないと言い切れるくらいひどいものだと思うので、これについては、5%に押さえるように努力すべきだと、総論的に思った。各論的にすごく思ったのが、最後のほうになるが、草刈りの人夫さんの賃金。議員の感覚と役場の感覚がずれているのが悲しかった。あれだけ本当に苦労している姿を彼らも見ているはずなのに、周りの状況だとかああだこうだと言っているが、単純に、どうしてあれだけ重労働して、しかも道路の草刈りというのは、結構、小値賀の顔でもあるわけだ。どうして単純にもっと上げると言えないのか。それが決算とは繋がらないが、そこがすごくまどろっこしく思った。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 私は執行残がどうのこうのじゃなくて、予算執行率があまりにも低すぎるみたいな感じ、まあそこにも入るのかもしれないが、やはり執行率をあまり無視して執行して、その場その場限りに執行をしているのかなという気がする。もう少ししっかりして、横山さんや今田さんみたいに補正をきちっと組み込んで、せめて 87~8%の予算執行率でいかないといけないと思う。ある一方では 40% ぐらいの執行率と言った時には啞然とした。何を考えているのかな、ということがひとつ。ほかには、自主財源率が少し去年よりも低くなっている。全体的にも若干減ってはいるが、昨年まではちょっと改善していたのが、微減ではあるが下がってしまったというのは非常に残念だと思う。支出については昨年と大体変わらんというか、退職者も多くなって新人も来たということで人件費がかなり下がっているというのはいいことだと思うが、反面、マンパワー不足ということが現実的になっている実情がある。しかし、する仕事はしないと、町民の安心安全な生活に直接関わる事業なので、この辺はもう少し金をかけても、きちっとした対応を望むところだ。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 言うことは皆同じようだが、行政運営としてはまあまあかと思うが、さっき横山委員が言ったように不用額が出るということは、職員がもう少し事業計画を立てる時には、やっぱり費用対効果を考えてしなければならない。そこら辺が、緩んだというわけじゃないが、もう少し慎重に考えて取り組む姿勢が必要じゃないかと私も思う。これから先もいろいろ、高齢化社会に入って経費も多くなると思うが、やはり小値賀の一番の財政というのは地方交付税をあてにしないといけないので、年々、人口が減ればそれだけ交付税も減っていくから、余程、出費を減らして収入を増やすということを考えてやらないといけないということを思うので、職員も気を引き締めて取り組んでもらいたいと思う。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 皆さんが言うように、やはりマンパワー不足というのが随所に出てきていると思う。しかし27年度の収支は5,266万9,187円の黒字であり、また町債にしても31億4,725万3,000円か、対前年比7,365万1,000円の減、基金は26億314万5,560円で1億2,431万9,249円増となっておるということで、またその町債のうち辺地債でも2億3,300万、過疎債でも10億1,800万で、辺地債も80%、過疎債が70%を国が出すということで、実質の町債の残高は31億4,725万3,000円であるけれども、内容的には71.4%、22億4,810万4,200円の残高と考えていいと思われる。それでまた監査委員の報告にもあるように、27年度の決算に基づく財政健全化比率も良好であり、資金不足もないというようなことで、一応、無難に運営しているのかなと。ただ、気になるのは、このマンパワー不足が今後、どのようなところに波及してくるのか、この辺はやっぱり注意して見ていく必要があるのかなと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 採決は、特別会計の質疑及び意見を聞いた後に行う。

以上で、本日の委員会を終了する。

特別会計は、明日16日、午前9時30分より開議する。

— 午 後 3 時 19 分 散 会 —